

なののはな だよ!

NANOHANA
DAYORI

老健ちば

No. **102**

July 2022



さかき光陽：毎朝の日課 究極の体操「ラジオ体操」

INDEX

ICT機器
アンケート調査報告

『高齢者施設への応援職員』

コーディネーター事業(千葉県)』

介護老人保健施設 佐倉ホワイエ

介護職 佐久間 絢香

自由気ままに

ペーパーブログ

はじめてのソフトボール観戦

介護老人保健施設 梅香苑

支援相談員 川辺 菜摘



DX(デジタルトランスフォーメーション)とは?

〈なののはなスマイル〉施設の笑顔紹介

● やすらぎの郷

● エスポワール船橋

〈老健ちばカレンダー〉

〈編集後記〉

<http://www.chiba-roken.jp/>

2022年7月20日 発行

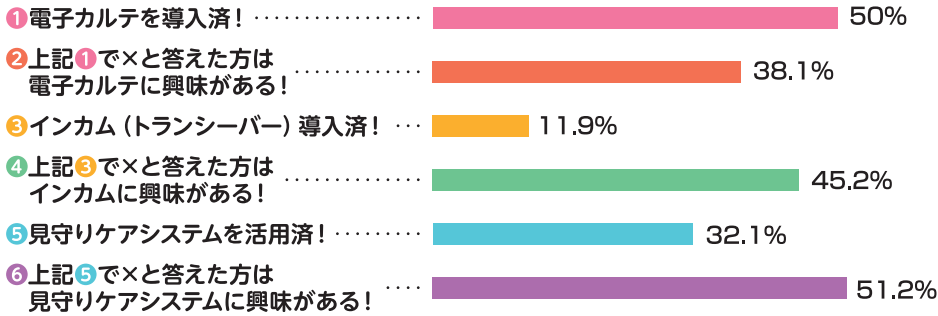
● 発行者/一般社団法人 千葉県老人保健施設協会 ● 編集者/広報委員会

● 〒262-0042 千葉県千葉市花見川区花島町149-1 TEL:043-259-8435 FAX:043-259-8436

ICT機器アンケート調査報告

今回、なのはなだより102号の発行に向けて、ICT機器の使用状況等について皆様に取らせて頂きましたアンケートの集計結果をご報告致します。

■集計結果:137施設中84施設



⑦今、使用しているICT機器

| | |
|--|-----|
| ・上記⑤の見守りケアシステム以外の見守りICT機器を使用。 | 5施設 |
| ・体温計・血圧計のデータが電子カルテにデータ移行出来ている。 | 4施設 |
| ・眠りスッカリ | 4施設 |
| ・介助支援ロボットを使用。 | 3施設 |
| ・骨伝導ヘッドセットと音声入力システム | 1施設 |
| ・シルエットセンサー | 1施設 |
| ・移乗サポート(ハグ) | 1施設 |
| ・体重計Bluetoothデータ管理、面会Bluetoothコミュニケーションツール | 1施設 |
| ・マッスルスーツ、コードレスマットレス | 1施設 |

集計の結果から電子カルテについて、導入済みが50%、興味がある38.1%合わせて88.1%と高い結果となりました。インカム、見守りケアシステムについては、電子カルテと比較して導入施設は低いが、約半数の施設が「興味がある」という回答となりました。集計の結果からICTについて関心は高いが、導入に至らない施設も多いという結果となりました。

導入に至らない要因の一つとして費用面、高額な設備費に対して効果が見えない不安が考えられます。

そこで、次号は見守りケアシステムやインカムを使用している施設の状況について掲載したいと思います。私達、広報委員では「ICT機器」など当協会加盟施設の使用状況など情報共有をする事で、参考にした施設の現場職員様の負担軽減のお力になればと考えております。

結果的に千葉県内の老健施設の底上げのお力になる事を心から望んでおります。アンケートの回答を頂いた皆様には心から感謝申し上げます。

広報委員

『高齢者施設への応援職員コーディネート事業(千葉県)』 介護老人保健施設 佐倉ホワイエ

3月中旬に千葉県社会福祉協議会よりクラスターが発生した県北西部の施設へ介護職員の応援要請があり1名の応援派遣を行いました。

施設内の人選に苦労するかと不安がありました。が、派遣登録をした7名全員が意欲的で「登録したからにはぜひ行かせてください!!」と熱い思いの職員が多く在籍している事に驚きと感動がありました。

感染症に関わる応援なので、今回は家庭事情等を考慮した人選としました。

ここから先は、体験した職員の感想となります。

『新型コロナウイルスに係る高齢者施設の応援派遣を経験して』

派遣初日は、「どの様なご利用者さんと接するのか? 自分の介護技術は大丈夫か?」等不安を抱えながら向かったのですが施設側の親切丁寧なご指導と利用者さんの笑顔に安堵し平常心で介護業務を行いました。

3日間の介護業務は感染リスクの低いグリーンゾーンで行う「包布交換、排泄介助、食事介助、衣類交換等」を担当し、入浴は清拭対応、食事は各居室で摂取して頂きました。

普段普通に行っていた業務が行えない事の大変さを実体験出来たこと、職員の団結力とご利用者様の「また来てね〜!」の笑顔が今も思い浮かびます。

今回の応援派遣で介護への思いとやりがいをも再認識できた事と自施設での感染症対応にも役立て生かせる経験となりました。

介護職 佐久間 絢香



はじめてのソフトボール観戦

介護老人保健施設 梅香苑

支援相談員 川辺 菜摘

コロナ禍で、私は、毎日自宅と職場の往復、休みの日は、外出することもなく自宅でゆっくり過ごすのが当たり前になっておりました。コロナの前は、どのように過ごしていたのか？とすら思っていました。そんな時、先日、コロナの感染状況も落ち着いたので、感染対応をしながらVONDS市原ソフトボールクラブの試合観戦に行くことにしました。日頃、私たちの職場で介護等のお仕事をしながら頑張っている選手を応援するためです。

私は、今まで、ソフトボール観戦に行ったことが無く、テレビでもソフトボールを見る機会が無かったため、「スポーツ観戦は、どんなものかな？」と思いつつ、ゼットエーボールパーク（市原市）へ向かいました。そして、場内に



入ると、ソフトボール知識もない、ソフトボールのルールはもつとわからない私でしたが、選手たちのプレーしている姿、グラウンドの熱気や雰囲気は一瞬で圧倒され、いつの間にか興奮しながら観戦していました。時間も忘れるほど熱中し、試合が終わった後も興奮している一方、気分はとてわった後も興奮していました。

普段一緒に働いている職員の新たな一面、何より素晴らしいプレーを見ることができ、ソフトボール観戦の素晴らしさを体験できた1日、元気をもらった1日でした。コ

ロナ禍で、なかなか外出する機会や趣味に没頭する時間も無くなった今、外出することの大切さ、リフレッシュすることの大切さを改めて、実感した日でもありました。また、それだけでなく、新しく何かを始めた、何かを感じる事の大切さを学びました。同じ職場で働く職員のおかげで新たな一

歩が踏み出せました。

今回のソフトボール観戦のおかげで、当たり前前に過ごせる日常に感謝しながら、これからも様々な事に挑戦し、たくさんの方を学びながら仕事にも生かしていきたいと改めて思いました。早くコロナが終息し、何も気にせず、チャレンジできる毎日になって欲しいなあと思います。



DX(デジタルトランスフォーメーション)とは？

DXとは、広義的には「デジタル技術を浸透させることで人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」ことを意味し、ITテクノロジーやICTを活用することでより良い変化をもたらすというイメージです。

介護現場にDXが求められる背景には、「業界全体の人員不足」が挙げられます。2025年には団塊の世代が後期高齢者に達し、介護ニーズが爆発的に増加するであろうと見込まれる「2025年問題」が迫っています。業務にICTやAI、介護ロボットなどのテクノロジーを活用し、積極的にデジタル化を推進して介護現場のデジタルトランスフォーメーションを図っていくことで既存の業務体制を抜本的に改革し、業務の効率化から生産性の向上、職員の負担軽減に繋げることが求められています。

DXを進めるための3つのステップ

① デジタイゼーション：アナログ業務を積極的にデジタル化していく。(介護記録ソフト、各帳票類をデータ化、オンライン会議等)

② デジタルイノベーション：業務の効率化により空いた時間を活かしてケアの質の向上を図る。

③ デジタルトランスフォーメーション：①②を実行することで利用者、職員双方の満足度を高め地域住民にも信頼される事業所となる。

(日経ヘルスケアNo.375引用)

福祉車両のプロフェッショナルにお任せください。



～ 営業内容 ～

- ▶ 福祉車両の販売・リース
- ▶ 架装部のメンテナンス
- ▶ 車検・点検・修理・板金塗装
- ▶ 各種損害保険
- ▶ 福祉車両の代車・レンタカー



福祉車両のどんなことでも

インジニアス株式会社

〒333-0848 埼玉県川口市芝下1-14-23

URL: <http://www.ingenious.co.jp>

TEL.048-263-9180 FAX.048-263-3452

なののはな スマイル

明るく!

元気!

施設の笑顔をご紹介します!



■ やすらぎの郷

チーバくんのお尻部分、三大朝市で名高い勝浦の山間部に位置し、お陰様で開設24年目を迎えました。特にPT・OT・STのリハビリ介入で、より良い生活ステージ支援や、ご家族や多職種との連携により“命の重みを分かち合うケア”の提供に努めております。

住 所：勝浦市芳賀441-1
電 話：0470-70-7065
開設日：1998年10月28日
入 所：100名
通 所：40名

リハビリや日々の生活を楽しく送って頂けるようスタッフ一心を込めて支援致します。



左から
・介護職員
松村 友里
・理学療法士
山下 英紀
・看護職員
木本 祐那

■ エスポワール船橋

当施設はエスポワール「希望」のもとに利用者様一人ひとりのニーズに応えられるよう全職種が一つになり全職で取り組んでいます。施設内に保育所もありイベントには子供達も参加しています。

住 所：船橋市小野田町1494-1
電 話：047-497-8513
開設日：2020年2月1日
入 所：100名
通 所：40名



利用者様からの「有難う」。
その一言が
私たちの元気の源です!
WE MAKE YOU SMILE!!

理学療法士
田中 竜平



老健ちばカレンダー

7月29日(金)・・・老人保健施設における基礎研修会

10月11日(火)・・・感染症研修会

※リスクマネジメント研修会は只今調整中です。 ※ズームによる研修会は1施設何名様でも参加可能です。ご参加お待ちしております!

●編集後記

- コロナによる制限が少しずつ解除の方向に向かい、街中も人や車が多く活気が出てきた様に感じます。福祉関係では、他分野と同じスピードで解除できず社会との差を感じますが、私生活含め少しずつ変化させていければなあと思っています。(白石)
- コロナが少し落ち着いてきたと思ったら、今度はウクライナ戦争…。次から次へと問題が発生し、私たちは常に試練を与えられているという感じです。しかしながら嘆いていても仕方ありません。自分にできることをやってポジティブにいきましょう! 私も2年ぶりに広島の子に会いに行こうかな♡(坂本)
- 私が広報委員に入った時は「なののはなだより」が55号(平成21年)からでした。かなり月日が経ったと感じますがまだまだ長い先輩方もおります。これからもよろしくお願いします。(神作)

- 真夏のマスクなんて絶対無理! ムリ! むりーーー!! と思ったあの日から、もう2年。3回目の夏ですね。皆様がいかにお過ごしでしょうか? 対面できず、電話やメールだけで、広報誌の作成に協力して下さる会員施設の皆様に感謝しております。(若林)
- ICT機器のアンケート結果から県老健会員様のICT機器等について、把握が出来て本当に良かったと思います。千葉県からも「ICT機器」⇒「DX」についての質問があり、何か動きがあるかもしれませんので、ICT機器について情報発信をして参ります。沢山の皆様から回答を頂いた事を心から感謝申し上げます。(福田)

